

突合せ溶接接手・金属材料の

引張試験・曲げ試験をご検討中の皆様へ

試験のご依頼にあたっては、以下のことにご留意ください

- 金属試験材料から引張・曲げ試験用の試験片の製作（切断・切削・研削など）は行っていません
- 受付から試験書発行まで2週間程度を要します
- 最大試験力 ※1 が 400 kN ※2 を超えると予想される場合は試験できません
- 引張試験片の全長は 250 mm 以上としてください
- 曲げ角度は 180 度 ※3 です
- 試験温度の指定はできません（室温のみ）

※1 最大試験力の計算（引張試験の予測値）

$$\text{最大試験力} = \text{材料の引張強さ} \times \text{平行部の断面積}$$

JIS の最小引張強さではなく、鋼材検査証明書（ミルシート）記載の引張強さ（T.S.）を使用する

※2 引張強さのばらつきや試験機の老朽化を考慮し、最大試験力は 400 kN までとしています

※3 押しジグの先端円弧中心がローラー中心高さを通過するまで押し下げて 180 度の曲げとしています

試験片の寸法・形状・表面状態・材質・熱処理などにより試験できないことがあります。早めのご相談をお願いします